

新 モリモリ書店

第68話 R02.02.13(木)
「大切なことだけを伝える
仕事をしたい。」

★今回、紹介する本は、『古くてあたらしい仕事』（著/島田潤一郎、出版/新潮社）です。

書店経営の経験が全くない島田さんは、ある日、思い立って、ひとりで出版社を立ちあげます。この本は、そんな「ひとり出版社」である「夏葉社」にこめた島田さんの思いが込められた1冊。

どんどん本屋がなくなっていく今の世の中で、がんがん儲けていく仕事ではなく、本当に大切にしたい本だけを、自分のペースで発行していく島田さんのスタンスがとてもすてきです。

島田さんのやさしい語り口調に心をいやされながら、「1冊の本がもつすばらしさ」、「本屋という存在は何か」、「自分の人生をどう丁寧に生きていくのか」などなど、読書論にとどまらず、仕事論、人生論まで、さまざまなことを考えさせてくれる本です。春も目の前の今だからこそ、自分をじっと見つめ直すには最適の本です。



「ぼくも、とてもすてきです。本、よく読んでね。」

大きく主張することは否定しない。
けど、でも、よく考えてみるよ。
ものにこそ、すごく大切な
何かがあるんじゃないかな。
よくありますよ。

人生でもっとも大切なのは、
人から必要とされることだ。

大切なことって、なんだろ？

たいせなのは、急げないこと。
ずるをしないこと。

名言がいろいろい。

大きな声はいらない。それよりも、
個人的な声を聴きたい。

